

科目名		銀行論(Banking)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
5年	経営情報学科	学習	1単位	選択	講義	前期	30時間		
担当教員		【非常勤】西京銀行の行員 (副担当) 准教授 田川 晋也							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	実務家による講義により、金融の仕組み、銀行の役割、銀行実務を理解することを目標とする。								
到達目標(評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	銀行の役割について説明できる。	銀行の役割について概ね説明できる。	銀行の役割について大抵説明できる。	銀行の役割についてほぼ説明できない。					
到達目標②	銀行の金融機能、市場の仕組みについて説明できる。	銀行の金融機能、市場の仕組みについて概ね説明できる。	銀行の金融機能、市場の仕組みについて大抵説明できる。	銀行の金融機能、市場の仕組みについてほぼ説明できない。					
到達目標③	銀行実務上の問題点について説明できる。	銀行実務上の問題点について概ね説明できる。	銀行実務上の問題点について大抵説明できる。	銀行実務上の問題点についてほぼ説明できない。					
学習・教育到達目標	C		JABEE基準1(2)		(d)-(1)				
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合				60	40				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】				◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】				○					
汎用的技能 【 】				○					
態度・志向性(人間力) 【 】					◎				
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】					◎				

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	経済学Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、財務会計論Ⅰ・Ⅱ
教科書	西京銀行が作成
補助教材等	プリント(演習問題)
学習上の留意点	
<p>無断欠席をする学生、遅刻する学生、授業中に私語をする学生、人の話を聞く姿勢が良くない学生は、ペナルティを課します。また、各回のレポート提出は、必ず決められた期日までに提出してください。それ以降は、受け付けません。レポートの提出がない回は、0点と判断します。成績は、レポートの内容と発表会の内容を考慮してつけます。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>この科目は、経営情報学科の経営・経済系の科目で習った知識が、実際、銀行でどのように使われているかを学ぶことになる。教科書で習うことと実務との違いを意識して学習してもらいたい。</p>	

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	銀行業とは？ 銀行の人事戦略 4/8予定	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・銀行の業務全般について理解ができる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
2		・銀行の人事戦略が理解できる。	
3	新周南支店の見学 銀行支店経営 4/22予定	・銀行の支店経営について理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
4		・周南支店の新店舗を見学を銀行の支店経営実務について理解できる	
5	地域密着金融 アジア新興国の現状 5/8予定	・地域金融機関が実践する仕掛けと取り組みについて理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
6		・アジア新興国トピックスと日本企業のアジア進出支援について理解できる。	
7	フィナンシャルプランナーについて 銀行の企業戦略について 5/22予定	・ライフイベント、資産形成の考え方とポートフォリオについて理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
8		・企業の経営戦略を立てる際に、現状の分析と戦略的に思考することができる。	
9	キャッシュフロー経営、審査 市場の役割と仕組み 6/5予定	・企業会計の基礎、キャッシュフロー経営、企業格付けについて理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
10		・株式市場、債券市場の役割と仕組みについて理解できる。	
11	新オペレーションセンターでの講義 銀行社内SEからの講義 6/19予定	・システム構築に関するマネジメントが理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
12		・新オペレーションセンターの見学により社内SEの業務について理解できる。	
13	西京銀行本店においての講義 西京銀行専務による講義 学生グループによる発表会 7/17予定	経営者の視点からの銀行の現在と将来について理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後のレポートにて理解すること。
14		グループ発表会で今後の銀行業界についての説明などができる。	
15	授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違っ箇所を理解できる。	
<b>総 学 習 時 間 数</b>			45 時間
<b>講 義</b>			30 時間
<b>自学自習</b>			15 時間